



岡 防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)

「避難」とは「難」を「避ける」こと。 自身の避難方法を決めておきましょう！

国土交通省では、毎年6月を「水防月間」と定めています。(道外は5月)
水害から命を守るため、ハザードマップを基に自身の避難方法を前もって決めておくことが大切です。



避難方法には、どのようなものがあるのだろうか？

災害時の避難には、自分の車で安全な場所に待機する車中避難もあります。車中避難では、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意するとともに、食料や飲料水をはじめ、照明器具など車中で安全・快適に過ごせるよう準備しましょう。
幕別町は帯広国際カントリークラブ・十勝ヒルズと防災協定を結んでいて、駐車場での車中避難が可能です。受け入れ開始の情報を確認した上で避難をしてください。

行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。
■■■■ 想定最大浸水深
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い



③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。



▶防災情報メール

二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶幕別町防災公式LINE

二次元コードを読み込み、「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu